

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-514060(P2000-514060A)

【公表日】平成12年10月24日(2000.10.24)

【出願番号】特願平10-504196

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 211/58

A 6 1 K 31/445

A 6 1 K 31/495

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/505

A 6 1 K 31/506

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 43/00

C 0 7 D 239/34

C 0 7 D 241/04

C 0 7 D 295/08

C 0 7 D 311/68

C 0 7 D 405/14

【F I】

C 0 7 D 211/58

A 6 1 K 31/445

A 6 1 K 31/495

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/505

A 6 1 K 31/506

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 43/00

C 0 7 D 239/34

C 0 7 D 241/04

C 0 7 D 295/08

A

C 0 7 D 311/68

C 0 7 D 405/14

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月18日(2004.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年6月18日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第504196号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 ニュージャージー 07033, ケニルワース,
ギャロッピング ヒル ロード 2000

名称 シェーリング コーポレーション

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策



電話 (大阪) 06-6949-3910

4. 補正対象書類名

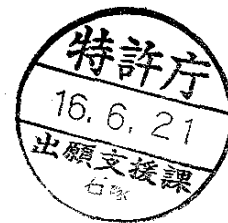
請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

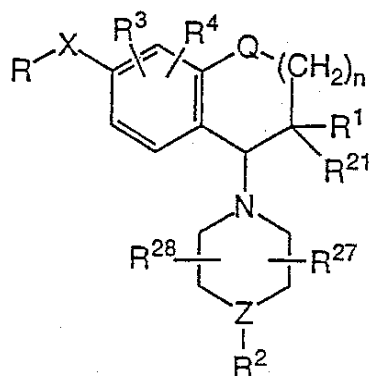
6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。



請求の範囲

1. 以下の構造式を有する化合物



または、その立体異性体、あるいはその薬学的に受容可能な塩、エステルまたは溶媒和化合物であって、

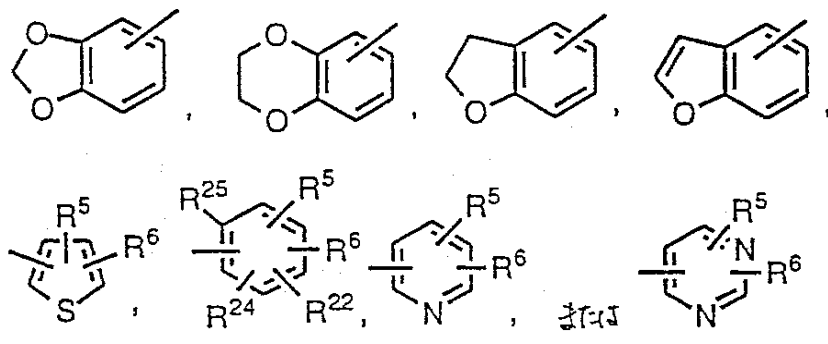
ここで：

Zは、N、CH、またはC-アルキルであり；

Xは、 $-O-$ 、 $-S-$ 、 $-SO-$ 、 $-SO_2-$ 、 $-CO-$ 、 $-CH_2-$ 、 $-CONR^{20}-$ 、 $-NR^{20}-SO_2-$ 、 $-NR^{20}CO-$ 、または $-SO_2-NR^{20}-$ であり；

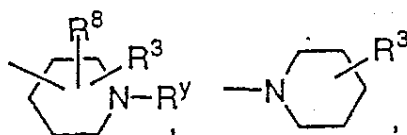
Qは、 $-O-$ 、 $-S-$ 、 $-SO-$ 、 $-SO_2-$ 、または $-CH_2-$ であり、

Rは、



R^1 および R^{21} は、水素、アルキル、アルケニル、シクロアルキル、シクロアルケニル、シクロアルキルアルキル、シクロアルケニルアルキル、フェニルアルキル、およびヒドロキシアルキルからなる群から独立して選択される；

R^2 は、シクロアルキル、1から3の独立的に選択される R^3 基によって置換されたシクロアルキル、シクロアルケニル、シクロアルキルアルキル、



(ここで、 R^y は、H、アルキル、アルケニル、 SO_2R^z または COR^z であり、ここで、 R^z は、アルキル、アルケニル、アリール、ヘテロアリール、またはシクロアルキル)であり、ただし、ZがCHまたはC-アルキルであるとき、 R^2 は、 R^3 -置換-1-ピペリジニルのみであり；またはZがCHであるとき、 R^2 はまた、アルコキシカルボニル、 $-N(R^9)$ (ヒドロキシアルキル)であり得、ここで、 R^9 は、H、ヒドロキシアルキル、またはアルキル、あるいは $-N(R^9)_2$ であり、ここで、2つの R^9 基は、結合され得、アルキレン基を形成する；

R^3 、 R^4 、 R^5 、 R^6 、 R^{22} 、 R^{24} 、および R^{25} は、H、アルキル、ハロ、アルコキシ、ベンジルオキシ、ニトロまたはアミノアルキルによって置換されたベンジルオキシ、ポリハロアルキル、ニトロ、スルホニル、アミノ、アルキルアミノ、ホルミル、アルキルチオ、アシルオキシ、アルキルスルホニル、アリールスルホニル、アシル、アルコキシカルボニル、アルキルスルフィニル、 $-OCONH_2$ 、 $-OCONH$ -アルキル、 $-OCON(アルキル)_2$ 、 $-NHCOO$ -アルキル、 $-NHCO$ -アルキル、フェニル、ヒドロキシアルキル、および1-モルフォリニルからなる群から独立して選択される；

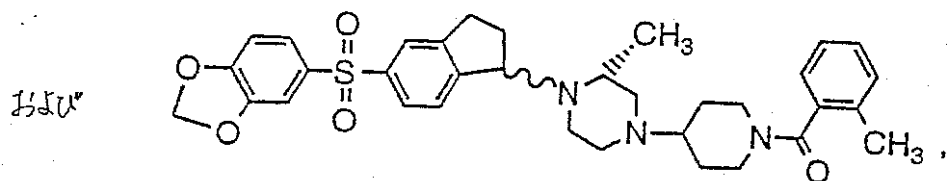
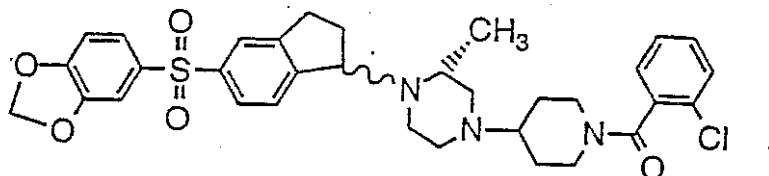
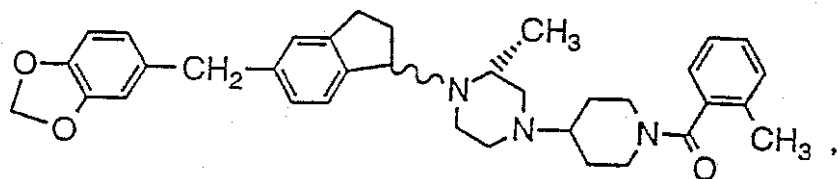
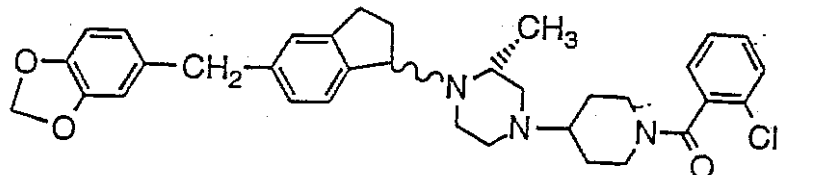
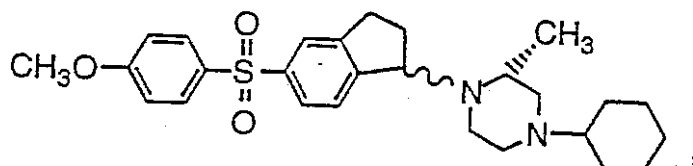
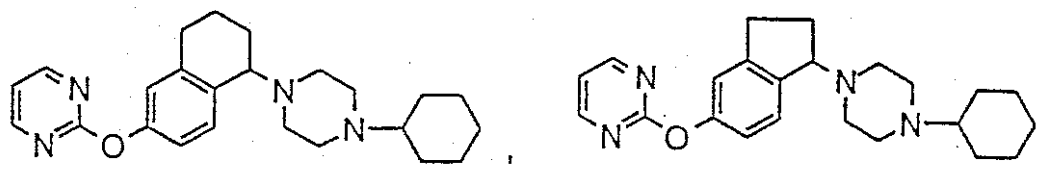
R^8 は、水素、低級アルキル、またはシクロプロピルであり；

R^{20} は、H、フェニル、またはアルキルである；そして

R^{27} および R^{28} は、H、アルキル、ヒドロキシアルキル、アルコキシアルキル、アリールアルキル、メルカプトアルキル、アルキルチオアルキル、およびカ

ルボキシアルキルからなる群から独立して選択され、そしてさらに R^{27} および R^{28} は、結合され得、アルキレン基を形成する；および
 n は、0または1から3の整数である。

2. 以下の式からなる群から選択される、請求項1に記載の化合物であって：



ここで、ピペラジン環に結合されるメチル基は、(R)－コンホメーションである。

3. 請求項1で定義されるような化合物を、薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせて含む薬学的組成物。

4. 認識障害または神経変性障害を処置するための薬物の調製のための、請求項1 または2に記載の化合物の使用。